

## 履歴書

名前... 松本健一

現職... 東洋大学経済学部 准教授（総合政策学科）

海洋研究開発機構 招聘主任研究員

長崎大学 客員准教授

早稲田大学環境経済・経営研究所 招聘研究員

ESCP Europe ビジネススクール（英国） 国際研究員

住所... 〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20

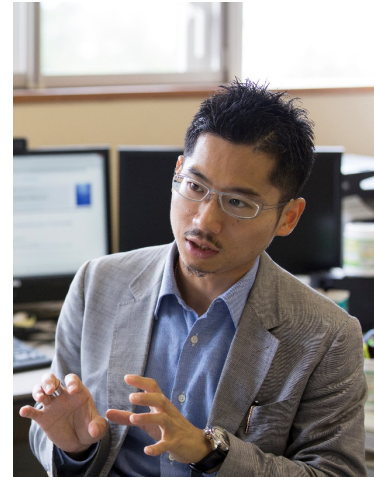
電話/Fax... 03-3945-7337

Email... kenichimatsu [at] gmail.com / matsumoto1005 [at] toyo.jp

生年月日... 1982年3月13日

出身地... 兵庫県

性別... 男



### 学歴...

- ・ 関西学院大学総合政策学部（2000年4月～2003年3月、退学）・指導教員：久野武
- ・ 早稲田大学大学院情報生産システム研究科情報生産システム工学専攻（2003年4月～2004年3月、早期修了）・指導教員：石野福弥
- ・ 関西学院大学大学院総合政策研究科総合政策専攻（2004年4月～2007年3月）・指導教員：福田豊生

### 学位...

- ・ 博士（総合政策）（関西学院大学）
- ・ 修士（工学）（早稲田大学）

### 職歴...

- ・ 日本学術振興会特別研究員 DC2（2006年4月～2007年3月）
- ・ 日本学術振興会特別研究員 PD（2007年4月～2008年3月）
- ・ 関西学院大学総合政策学部受託研究員（2007年4月～2008年3月）
- ・ 国立環境研究所地球環境研究センター特別研究員（2008年4月～2011年3月）
- ・ 滋賀県立大学環境科学部助教（2011年4月～2016年3月）
- ・ 長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科（環境科学部担当）准教授（2016年4月～2021年3月） 2019年4月より総合生産科学域に配置転換（水産・環境科学総合研究科、環境科学部担当）
- ・ 東洋大学経済学部准教授（2021年4月～）
  
- ・ ロンドンメトロポリタン大学客員研究員（2011年2月～2013年8月）

- ・ ABM analytics Senior Research Associate (2011年10月～2014年12月)
- ・ ESCP Europe ビジネススクール国際研究員 (2014年9月～)
- ・ 海洋研究開発機構招聘主任研究員(気候変動リスク情報創生プロジェクトチーム:2016年4月～、気候モデル高度化研究プロジェクトチーム:2017年7月～)
- ・ 早稲田大学環境経済・経営研究所招聘研究員 (2018年4月～)
- ・ 長崎大学客員准教授 (2021年4月～)

### インターンシップ...

- ・ NTT コミュニケーション科学基礎研究所知能情報研究部創発学習研究グループ (2003年7～8月)・指導担当者: 斉藤和巳・上田修功

### 獲得研究費等(太字は現在進行中) ...

#### <科学研究費補助金>

- ・ 科学研究費補助金特別研究員奨励費 06J04652/マルチエージェントモデルを用いた温室効果ガス排出権取引と炭素税の政策評価/研究代表者 (2006年4月～2008年3月)
- ・ 科学研究費補助金若手研究 B (24710046)/エージェントベースモデルによる統合的なエネルギー需給・資源の将来シミュレーション/研究代表者 (2012年4月～2015年3月)
- ・ 科学研究費補助金基盤研究 A (25241030)/東アジアの持続可能な発展のためのエネルギー・環境財政のグリーン改革/研究分担者 (2013年4月～2016年3月・2014年4月より参画)
- ・ 科学研究費補助金若手研究 B (15K16161)/応用一般均衡モデルを基礎とした気候変動・エネルギー問題の安全保障の観点からの評価/研究代表者 (2015年4月～2018年3月)
- ・ 科学研究費補助金基盤研究 C (15K00669)/クリーン開発メカニズムの経験に基づく国際協力による温暖化対策の環境経済影響評価/研究分担者 (2015年4月～2018年3月)
- ・ 科学研究費補助金基盤研究 A (16H01799)/東アジアの持続可能な未来に向けたエネルギー、資源、土地利用の大転換と制度改革/研究分担者 (2016年4月～2020年3月)
- ・ 科学研究費補助金基盤研究 C(18K11754)/社会経済・気候システムの相互作用を考慮した多様な気候変動シナリオの評価/研究代表者 (2018年4月～2021年3月)
- ・ 科学研究費補助金基盤研究 C(18K11800)/東北アジアにおける温暖化対策と国際協力による環境経済影響評価分析/研究分担者 (2018年4月～2022年3月)
- ・ 科学研究費補助金基盤研究 B (19H04340)/森林開発がもたらす新たな貧困リスク:インドネシアにおける持続可能な森林政策/研究分担者 (2019年4月～2022年3月)
- ・ 科学研究費補助金基盤研究 C(19K12467)/持続可能な開発目標達成のための科学・政策インターフェースの構築:森林分野を事例に/研究分担者 (2019年4月～2022年3月)
- ・ 科学研究費補助金基盤研究 B (21H03673)/日本の長時間労働の是正を通じた持続可能性と平等性に関する研究/研究分担者 (2021年4月～2024年3月)
- ・ 科学研究費補助金基盤研究 B (21H03673)/原子力リスク分析に基づいた東アジアの原発安全協働体制構築/研究分担者 (2021年4月～2024年3月)
- ・ 科学研究費補助金国際共同研究加速基金(国際共同研究強化 B) (21KK0187)/ナイジェリアとガ

一ノの都市と農村における屋内外の PM2.5 の動態と健康・社会影響／研究分担者（2021年11月～2026年3月）

＜政府機関＞

- ・ 文部科学省気候変動リスク情報創生プログラム／安定化目標値設定に資する気候変動予測／研究分担者（2012年9月～2017年3月）
- ・ 環境省環境研究総合推進費戦略研究プロジェクト S14／テーマ5サブテーマ5気候変動に対する効果的な緩和と適応の実施に資するガバナンスと資金メカニズムに関する研究／研究協力者（2015年6月～2020年3月）
- ・ 文部科学省気候モデル高度化研究プロジェクト／炭素循環・気候感度・ティッピング・エレメント等の解明／研究分担者（2017年6月～2022年3月）
- ・ 生物系特定産業技術研究支援センター ムーンショット型農林水産研究開発事業／フードチェーン全体を通じた食品ロス低減とそれに伴う環境負荷削減に関する研究／研究分担者（2021年～）

＜地方自治体＞

- ・ 野州市環境基本計画見直しにかかる共同研究事業／研究分担者（2011年9月～2012年9月）
- ・ 平成25年度ヨシ群落保全創造業務／研究分担者（2013年6月～2014年3月）

＜研究機関＞

- ・ 国立環境研究所地球環境研究センター／国際研究計画・機関情報（情報源情報データベース）の再構築／研究分担者（2006年8月～2007年2月）
- ・ 国立環境研究所地球環境研究センター／国際研究計画・機関情報（情報源情報データベース）の再構築／研究分担者（2007年8月～2008年2月）
- ・ 海洋研究開発機構／経済モデルによる気候安定化目標に向けた社会経済シナリオの構築／研究代表者（2012年4月～2016年3月）
- ・ 総合地球環境学研究所インキュベーション研究／伝統知と現代科学を組み合わせた地球環境問題対応策の提言：地域および全球スケールでの試み／研究分担者（2013年5月～2014年3月）
- ・ 長崎大学研究推進支援経費／企業の環境行動・ESGと経営パフォーマンスの関係：EU企業を対象とした計量経済分析／研究代表者（2018年8月～2019年3月）
- ・ 長崎大学研究推進支援経費／再生可能エネルギー導入による電力市場への影響：欧州市場を対象とした経済学的分析／研究代表者（2019年8月～2020年3月）

＜企業等＞

- ・ 地球温暖化予測モデルを用いた SSPs の温暖化抑止効果の検討（三菱総合研究所）／研究分担者（2004年10月～2005年3月）
- ・ 環境省・新循環型社会形成推進基本計画の参考事例集作成（三菱UFJリサーチ&コンサルティング）／研究代表者（2008年1月～3月）
- ・ 住友財団環境研究助成／西アフリカでの多地点観測による PM2.5 の健康・社会経済影響に関する学際研究／研究分担者（2020年11月～2022年11月）

<海外>

- ・ AVOID Programme, UK (2009～2012年)

**受賞歴...**

- ・ 滋賀県立大学特別表彰 (2014年6月)
- ・ 滋賀県立大学特別表彰 (2015年6月)
- ・ Letter of Gratitude: National Center of Science and Technology Evaluation, Kazakhstan for peer-review of scientific research proposals (2016年9月)
- ・ Best Poster Award: 11th Conference on Sustainable Development of Energy, Water and Environment Systems (2016年9月)
- ・ 環境科学会奨励賞 (2018年9月)
- ・ 環境経済・政策学会奨励賞 (2019年9月)
- ・ 環境科学会 2020年会優秀発表賞 (最優秀賞・筆頭: 松村悠子) (2020年10月)
- ・ 環境科学会 2020年度優秀研究企画賞・富士電機賞 (2021年9月)

**専門分野...**

- ・ 環境経済学、エネルギー経済学、環境・エネルギー政策、環境・エネルギーシステム、持続可能な発展

**研究キーワード...**

- ・ 気候変動問題・政策、エネルギー、地球環境問題、応用一般均衡モデル、計量経済モデル、エージェントベースモデル、エネルギー安全保障

**所属学会...**

<現在>

- ・ 環境政策・経済学会
- ・ エネルギー・資源学会
- ・ 環境科学会
- ・ International Association for Energy Economics

<過去>

- ・ 日本エネルギー学会
- ・ プロジェクトマネジメント学会
- ・ International Centre for Sustainable Development of Energy, Water and Environment Systems

### 学外委員会...

- ・ 高島市環境審議会副会長 (2012年6月～2016年5月)
- ・ 高島市環境センター管理運営委員会委員 (2014年12月～2016年5月)
- ・ 高島市環境センター在り方検討委員会委員 (2015年5月～12月)
- ・ 岐阜市水素・再生可能エネルギー導入ビジョン策定検討委員会委員 (2018年11月～2019年3月)
- ・ 岐阜市エネルギー構造高度化・転換理解促進事業有識者助言委員会副委員長 (2019年11月～2020年3月、2020年10月～2021年3月、2021年8月～2022年3月)

### 学術誌編集委員...

- ・ 環境科学会誌 (2015年9月～2021年2月)
- ・ 土木学会環境システム委員会 (2015年4月～2021年3月)
- ・ Global Security (Taylor & Francis, 2015年12月～)
- ・ Euro-Asian Journal of Sustainable Development Policy (PromitheasNet, 2016年～)
- ・ ゲスト編集委員 : Energies, Sustainability Science, Frontiers in Sustainable Cities

### 査読歴...

- ・ African Journal of Agricultural Research
- ・ African Journal of Business Management
- ・ Annual Conference of Global Economic Analysis
- ・ Applied Economics
- ・ Applied Energy
- ・ Atmospheric Pollution Research
- ・ Carbon Balance and Management
- ・ Climate Policy
- ・ Climatic Change
- ・ Computers & Operations Research
- ・ Economic Analysis and Policy
- ・ Economics of Disasters and Climate Change
- ・ Ecological Modelling
- ・ Energies
- ・ Energy Economics
- ・ Energy Journal
- ・ Energy Policy
- ・ Environmental Research Letters
- ・ Energy Strategy Reviews
- ・ Environmental Economics and Policy Studies
- ・ Fudan Journal of the Humanities and Social Sciences
- ・ Global Security
- ・ Heliyon
- ・ International Journal on Green Energy
- ・ International Journal of Financial Engineering and Risk Management
- ・ International Journal of Women's Health
- ・ Johnson Matthey Technology Review
- ・ Journal of Cleaner Production
- ・ Journal of Contemporary African Studies
- ・ Journal of Energy Engineering
- ・ Journal of Energy Markets
- ・ Journal of Environmental Management
- ・ Journal of Environmental Planning and Management
- ・ Journal of Global Environmental Research
- ・ Journal of Sustainable Development of Energy, Water and Environment Systems
- ・ Journal of the Japanese and International Economies
- ・ Mitigation and Adaptation Strategies for Global Change
- ・ Natural Resources Research
- ・ Nature Communications
- ・ Nature Energy
- ・ Renewable and Sustainable Energy Reviews
- ・ Resources, Conservation & Recycling
- ・ Simulation Modelling Practice and Theory
- ・ Solar
- ・ Structural Change and Economic Dynamics
- ・ Sustainable Energy Technologies and Assessments
- ・ Sustainability Science
- ・ Technological Forecasting and Social Change
- ・ 土木学会誌
- ・ 環境科学会誌
- ・ 地球環境研究論文集
- ・ システム農学
- ・ 環境情報科学学術研究論文集
- ・ エネルギー・資源学会論文誌

### その他学術的活動...

- Scientific Advisory Board of Dubrovnik Conference on Sustainable Development of Energy, Water and Environment Systems (2009年～2018年)
- External Referee of Academic Promotion Panel, London Metropolitan University (2013年)
- Program Technical Committee of 3rd ScienceOne International Conference on Environmental Sciences (2013年)
- Scientific Advisory Board of South East European Conference on Sustainable Development of Energy, Water and Environment Systems (2013年～2018年)
- 土木学会環境システム委員会委員 (2015年4月～2021年3月)
- 土木学会環境システム委員会論文編集小委員会委員 (2015年4月～2021年3月)
- Scientific Committee of International Scientific Conference on Energy and Climate Change (2015年～)
- Scientific Advisory Board of Latin American SDEWES Conference on Sustainable Development of Energy, Water and Environment Systems (2017年7月～2018年)
- Scientific Committee of 3rd HAEE International Conference (2017年9月～2018年)
- 環境科学会幹事 (編集担当: 2019年3月～2021年2月; 年会担当: 2021年3月～2023年2月)
- 博士論文外部審査委員 (Mr. Abdelrahman Azzuni; LUT University, Finland; 2020年)

### その他活動...

- 国立環境研究所 AIM トレーニングワークショップ CGE モデル講師 (2008年8月・2009年8月)
- Expert Reviewer for Research Fund of National Center of Science and Technology Evaluation, Ministry of Education and Science, Republic of Kazakhstan (2011年～)
- Reviewer of Mid-term Evaluation of DECC's Avoiding Dangerous Climate Change (AVOID) Programme (2012年)
- 気候変動リスク情報創生プログラムテーマ B「安定化目標値設定に資する気候変動予測」運営委員会委員 (2012年～2017年3月)
- 東アジア環境政策研究会 E3 モデリング講習会 CGE モデル講師 (2013年8月29～30日、9コマ)

### 担当講義 (学年・担当年度) ...

<学部>

- エネルギー経済学 A・B (2・2021年度～)
- エネルギー経済学 A・B (イブニングコース2・2021年度～)
- 総合政策ワークショップ (2・2021年度～、分担)
- 現代経済入門 I (イブニングコース1・2021年度～、分担)
- ゼミナール IA・B (1・2021年度～)
- ゼミナール IIA・B (2・2021年度～)
- ゼミナール IIIA・B (3・2021年度～)
- 政策提言 I (3・2021年度～)

## &lt;大学院&gt;

- ・ 環境経済学 (修士・2021年度～)

## [過年度]

## 【長崎大学：学部】

- ・ 地域の環境を考える(環境と社会の共生 II) (1・2016年度, 分担)
- ・ 環境・資源経済学 (3・2016～2018年度)
- ・ 国際環境エキスパートセミナー (2016～2018年度, 分担)
- ・ Introduction to Environmental Science (1・2016～2020年度, 分担)
- ・ 環境政策基礎演習 A または B (2・2016～2020年度)
- ・ 環境政策学 II (3・2017年度, 分担)
- ・ 経済学概論 (2・2017～2020年度, 分担)
- ・ 環境政策を考える (2・2017～2020年度, 分担)
- ・ 環境政策演習 A・B (3・2016～2020年度)
- ・ 初年次セミナー (1・2017・2020年度)
- ・ 環境政策特別研究 (4・2017～2020年度)
- ・ 環境経済学 I (1・2018～2020年度)

## 【長崎大学：大学院】

- ・ 学際先進演習 I (修士・2016年度)
- ・ 環境経済政策学特講 (修士・2017～2020年度, 分担; 2016年度は環境経済学特講)
- ・ 環境経済学基礎特講 II (修士・2017～2020年度)
- ・ 環境経済学応用特講 II (修士・2017～2020年度)
- ・ 特別演習・特別研究 I、特別研究 II (修士・2018～2020年度)
- ・ 環境資源経済学特論 (博士・2016～2020年度)
- ・ 博士課程特別講義 (博士・2017年度)
- ・ 学外実習 (博士・2019～2020年度)

## 【滋賀県立大学：学部】

- ・ 応用統計学 I (2・2011～2015年度)
- ・ 環境情報演習 (2・2011～2015年度)
- ・ 地球環境システム論 (2・2011～2015年度)
- ・ 環境フィールドワーク II (2・2015年度)
- ・ 人間探求学 (1・2011～2015年度)
- ・ 政策形成・施設演習 (1・2011～2015年度)
- ・ 政策計画基礎演習 I-II (2・2013～2015年度)
- ・ 政策計画演習 I-IV (3-4・2011～2015年度)
- ・ 卒業研究 (4・2011～2015年度)
- ・ 社会調査実習 (3・2011～2014年度)
- ・ 環境フィールドワーク I (1・2011～2014年度)

## 【滋賀県立大学：大学院】

- ・ 環境政策形成過程論 (修士・2011～2015年度)
- ・ 環境計画学特別演習 III・IV (修士)
- ・ 環境計画学特別研究 I・II (修士)

## 【非常勤講師】

- ・ 環境・エネルギー・経済論 (神戸大学海事科学部, 2014～2020年度)
- ・ 政策計画演習 III・IV (滋賀県立大学環境科学部, 2016年度)
- ・ 卒業研究 (滋賀県立大学環境科学部, 2016年度)

## その他...

- ・ 兵庫県立三田祥雲館高等学校特別非常勤講師 (2005年10月)
- ・ 普通救命講習 II 講師 (2012年1月25日)
- ・ 普通救命講習 I 講師 (2012年12月17日、2014年1月9日、2015年2月5日)

## その他ウェブサイト等のプロフィール...

- ・ [Profile@Researchmap \(Japanese/English\)](#)
- ・ [Profile@RCEM, ESCP Europe](#)
- ・ [Profile@ResearchGate](#)

## 研究業績

## 査読付き論文（\*は筆頭著者ではない責任著者）

1. Matsumoto, K., Tachiiri, K., and Su, X. (2021) Heat Stress, Labor Productivity, and Economic Impacts: Analysis of Climate Change Impacts Using Two-way Coupled Modeling. *Environmental Research Communications* XX, XX [[doi.org/10.1088/2515-7620/ac3e14](https://doi.org/10.1088/2515-7620/ac3e14)].
2. Zhang, T., Matsumoto, K., and Nakagawa, K. (2021) The Relative Importance of Determinants of the Solar Photovoltaic Industry in China—Analyses by the Diamond Model and Analytic Hierarchy Process. *Energies* 14(20), 6600 [[doi.org/10.3390/en14206600](https://doi.org/10.3390/en14206600)].
3. Huang, Y. and Matsumoto, K.\* (2021) Drivers of the Change in Carbon Dioxide Emissions under the Progress of Urbanization in 30 Provinces in China: A Decomposition Analysis. *Journal of Cleaner Production* 332, 129000 [[doi.org/10.1016/j.jclepro.2021.129000](https://doi.org/10.1016/j.jclepro.2021.129000)].
4. Matsumoto, K. and Chen, Y. (2021) Industrial Eco-efficiency and its Determinants in China: A Two-stage Approach. *Ecological Indicators* 130, 108072 [[doi.org/10.1016/j.ecolind.2021.108072](https://doi.org/10.1016/j.ecolind.2021.108072)].
5. Ito, Y., Matsumoto, K., Usup, A., and Yamamoto, Y. (2021) A Sustainable Way of Agricultural Livelihood: Edible Bird's Nests in Indonesia. *Ecosystem Health and Sustainability* 7, 1960200 [[doi.org/10.1080/20964129.2021.1960200](https://doi.org/10.1080/20964129.2021.1960200)].
6. Morita, K. and Matsumoto, K. (2021) Governance Challenges for Implementing Nature-based Solutions in the Asian Region. *Politics and Governance* 9(4), 102-113 [[doi.org/10.17645/pag.v9i4.4420](https://doi.org/10.17645/pag.v9i4.4420)].
7. Matsumoto, K., Nakamine, Y., Eom, S., and Kato, H. (2021) Demographic, social, economic, and regional factors affecting the diffusion of hybrid electric vehicles in Japan. *Energies* 14(8), 2130 [[doi.org/10.3390/en14082130](https://doi.org/10.3390/en14082130)].
8. Tachiiri, K. Su, X., Matsumoto, K. (2021) Identifying Key Processes and Sectors in the Interaction between Climate and Socio-economic Systems: A Review toward Integrating Earth-human Systems. *Progress in Earth and Planetary Science* 8, 24 [[doi.org/10.1186/s40645-021-00418-7](https://doi.org/10.1186/s40645-021-00418-7)].
9. Keeley, A., Matsumoto, K., Tanaka, K. Sugiawan, Y., and Managi, S. (2020) The Impact of Renewable Energy Generation on the Spot Market Price in Germany: Ex-post Analysis Using Boosting Method. *The Energy Journal* 41(SI1), 119-139 [[doi.org/10.5547/01956574.41.SI1.akee](https://doi.org/10.5547/01956574.41.SI1.akee)].
10. Najm, S. and Matsumoto, K.\* (2020) Does Renewable Energy Substitute LNG International Trade in the Energy Transition? *Energy Economics* 92, 104964 [[doi.org/10.1016/j.eneco.2020.104964](https://doi.org/10.1016/j.eneco.2020.104964)].
11. Ren, L. and Matsumoto, K.\* (2020) Effects of Socioeconomic and Natural Factors on Air Pollution in China: A Spatial Panel Data Analysis. *Science of the Total Environment* 740, 140155 [[doi.org/10.1016/j.scitotenv.2020.140155](https://doi.org/10.1016/j.scitotenv.2020.140155)].
12. Matsumoto, K., Makridou, G., and Doumpos, M. (2020) Evaluating Environmental Performance Using Data Envelopment Analysis: The case of European Countries. *Journal of Cleaner Production* 272, 122637 [[doi.org/10.1016/j.jclepro.2020.122637](https://doi.org/10.1016/j.jclepro.2020.122637)].
13. Shigetomi, Y., Chapman, A., Nansai, K., Matsumoto, K., and Tohno, S. (2020) Quantifying Lifestyle Based Social Equity Implications for National Sustainable Development Policy. *Environmental Research Letters* 15, 084044 [[doi.org/10.1088/1748-9326/ab9142](https://doi.org/10.1088/1748-9326/ab9142)].
14. Tembata, K., Yamamoto, Y., Yamamoto, M., and Matsumoto, K. (2020) Don't Rely too Much on Trees:



- Evidence from Flood Mitigation in China. *Science of the Total Environment* 735, 138410 [[doi.org/10.1016/j.scitotenv.2020.138410](https://doi.org/10.1016/j.scitotenv.2020.138410)].
15. Shiraki, H., Matsumoto, K., Shigetomi, Y., Ehara, T., Ochi, Y., and Ogawa, Y. (2020) Factors Affecting CO<sub>2</sub> Emissions from Private Automobiles in Japan: The Impact of Vehicle Occupancy. *Applied Energy* 259, 114196 [[doi.org/10.1016/j.apenergy.2019.114196](https://doi.org/10.1016/j.apenergy.2019.114196)].
  16. Matsumoto, K., Hasegawa, T., Morita, K., and Fujimori, S. (2019) Synergy Potential between Climate Change Mitigation and Forest Conservation Policies in the Indonesian Forest Sector: Implications for Achieving Multiple Sustainable Development Objectives. *Sustainability Science* 14, 1657-1672 [[doi.org/10.1007/s11625-018-0650-6](https://doi.org/10.1007/s11625-018-0650-6)].
  17. Huang, Y., Shigetomi, Y., Chapman, A., and Matsumoto, K.\* (2019) Uncovering Household Carbon Footprint Drivers in an Aging, Shrinking Society. *Energies* 12(19), 3745 [[doi.org/10.3390/en12193745](https://doi.org/10.3390/en12193745)].
  18. Yamamoto, Y., Matsumoto, K., Kawata, K., and Kaneko, S. (2019) Gender-based Differences in Employment Opportunity and Wage Distribution in Nepal. *Journal of Asian Economics* 64, 101131 [[doi.org/10.1016/j.asieco.2019.07.004](https://doi.org/10.1016/j.asieco.2019.07.004)].
  19. Herran, D.S., Tachiiri, K., and Matsumoto, K. (2019) Global Energy System Transformations in Mitigation Scenarios Considering Climate Uncertainties. *Applied Energy* 243, 119-131 [[doi.org/10.1016/j.apenergy.2019.03.069](https://doi.org/10.1016/j.apenergy.2019.03.069)].
  20. Matsumoto, K. (2019) Climate Change Impacts on Socioeconomic Activities through Labor Productivity Changes Considering Interactions between Socioeconomic and Climate Systems. *Journal of Cleaner Production* 216, 528-541 [[doi.org/10.1016/j.jclepro.2018.12.127](https://doi.org/10.1016/j.jclepro.2018.12.127)].
  21. Matsumoto, K., Shigetomi, Y., Shiraki, H., Ochi, Y., Ogawa, Y., and Ehara, T. (2019) Addressing Key Drivers of Regional CO<sub>2</sub> Emissions of the Manufacturing Industry in Japan. *The Energy Journal* 40, 233-258 [[doi.org/10.5547/01956574.40.S11.kmat](https://doi.org/10.5547/01956574.40.S11.kmat)].
  22. Matsumoto, K., Yamamoto, Y., and Ohya, N. (2018) Effect of Subsidies and Tax Deductions on Promoting the construction of Long-life Quality Houses in Japan. *International Journal of Environmental Research and Public Health* 15(11), 2376 [[doi.org/10.3390/ijerph15112376](https://doi.org/10.3390/ijerph15112376)].
  23. Keeley, A. and Matsumoto, K. (2018) Relative Significance of Determinants of Foreign Direct Investment in Wind and Solar Energy in Developing Countries - AHP Analysis. *Energy Policy* 123, 337-348 [[doi.org/10.1016/j.enpol.2018.08.055](https://doi.org/10.1016/j.enpol.2018.08.055)].
  24. Shigetomi, Y., Matsumoto, K., Ogawa, Y., Shiraki, H., Yamamoto, Y., Ochi, Y., and Ehara, T. (2018) Driving Forces Underlying Sub-national Carbon Dioxide Emissions within the Household Sector and Implications for the Paris Agreement Targets in Japan. *Applied Energy* 228, 2321-2332 [[doi.org/10.1016/j.apenergy.2018.07.057](https://doi.org/10.1016/j.apenergy.2018.07.057)].
  25. Matsumoto, K. and Shiraki, H. (2018) Energy Security Performance in Japan under Different Socioeconomic and Energy Conditions. *Renewable and Sustainable Energy Reviews* 90, 391-401 [[doi.org/10.1016/j.rser.2018.03.070](https://doi.org/10.1016/j.rser.2018.03.070)].
  26. Azuma, A., Chewpreecha, U., Na, S-I., Chen, L-C., He, Y., Matsumoto, K., and Lee, S. (2018) Modeling the Power Generation Sectors of East Asia in 2050: The Choice of Power Sources by Regulation of Nuclear and Coal Power. *Meijo Asian Research Journal* 8(1), 3-24. [[Link](#)].
  27. Morita, K. and Matsumoto, K. (2018) REDD+ Financing to Enhance Climate Change Mitigation and

- Adaptation and Biodiversity Co-benefits: Lessons from the Global Environment Facility. *AGRIVITA Journal of Agricultural Science* 40(1), 118-130 [[doi.org/10.17503/agrivita.v40i0.1729](https://doi.org/10.17503/agrivita.v40i0.1729)].
28. Keeley, A. and Matsumoto, K. (2018) Investors' Perspective on Determinants of Foreign Direct Investment in Wind and Solar Energy in Developing Economies: Review and Expert Opinions. *Journal of Cleaner Production* 179, 132-142 [[doi.org/10.1016/j.jclepro.2017.12.154](https://doi.org/10.1016/j.jclepro.2017.12.154)].
  29. Matsumoto, K., Doumpos, M., and Andriosopoulos, K. (2018) Historical Energy Security Performance in EU Countries. *Renewable and Sustainable Energy Reviews* 82, 1737-1748 [[dx.doi.org/10.1016/j.rser.2017.06.058](https://dx.doi.org/10.1016/j.rser.2017.06.058)].
  30. Morita, K. and Matsumoto, K. (2018) Synergies among Climate Change and Biodiversity Conservation Measures and Policies in the Forest Sector: A case Study of Southeast Asian Countries. *Forest Policy and Economics* 87, 59-69 [[doi.org/10.1016/j.forpol.2017.10.013](https://doi.org/10.1016/j.forpol.2017.10.013)].
  31. Matsumoto, K., Tachiiri, K., and Kawamiya, M. (2018) Evaluating Multiple Emission Pathways for Fixed Cumulative Carbon Dioxide Emissions from Global-scale Socioeconomic Perspectives. *Mitigation and Adaptation Strategies for Global Change* 23, 1-26 [[dx.doi.org/10.1007/s11027-016-9726-8](https://dx.doi.org/10.1007/s11027-016-9726-8)].
  32. 松本健一・高木三水珠 (2017) コメ生産に対する気候変動の影響と適応策. *環境科学会誌* 30(6), 346-356 [[doi.org/10.11353/sesj.30.346](https://doi.org/10.11353/sesj.30.346)].
  33. Yamamoto, Y. and Matsumoto, K.\* (2017) Choice of Contraceptive Methods by Women's Status: Evidence from Large-scale Microdata in Nepal. *Sexual and Reproductive Healthcare* 14, 48-54 [[doi.org/10.1016/j.srhc.2017.09.005](https://doi.org/10.1016/j.srhc.2017.09.005)].
  34. Matsumoto, K., Morita, K., Mavrakis, D. and Konidari, P. (2017) Evaluating Japanese Policy Instruments for the Promotion of Renewable Energy Sources. *International Journal of Green Energy* 14(8), 724-736 [[dx.doi.org/10.1080/15435075.2017.1326050](https://dx.doi.org/10.1080/15435075.2017.1326050)].
  35. Matsumoto, K. (2016) Transition of Energy Security Performances in Japan: Historical and Scenario Analysis. *Euro-Asian Journal of Sustainable Energy Development Policy* 5(2), 1-12 [[Link](#)].
  36. Matsumoto, K. and Andriosopoulos, K. (2016) Energy Security in East Asia under Climate Mitigation Scenarios in the 21st Century. *Omega* 59, 60-71 [[dx.doi.org/10.1016/j.omega.2014.11.010](https://dx.doi.org/10.1016/j.omega.2014.11.010)].
  37. Matsumoto, K., Tachiiri, K., and Kawamiya, M. (2016) Impact of Climate Model Uncertainties on Socioeconomics: a Case Study with a Medium Mitigation Scenario. *Computers & Operations Research* 66, 374-383 [[doi.org/10.1016/j.cor.2015.01.011](https://doi.org/10.1016/j.cor.2015.01.011)].
  38. Matsumoto, K. (2015) Energy Structure and Energy Security under Climate Mitigation Scenarios in China. *PLoS ONE* 10(12), e0144884 [[dx.doi.org/10.1371/journal.pone.0144884](https://dx.doi.org/10.1371/journal.pone.0144884)].
  39. Matsumoto, K. and Voudouris, V. (2015) Potential Impact of Unconventional Oil Resources on Major Oil-producing Countries: Scenario Analysis with the ACEGES Model. *Natural Resources Research* 24(1), 107-119 [[dx.doi.org/10.1007/s11053-014-9246-8](https://dx.doi.org/10.1007/s11053-014-9246-8)].
  40. 中田沙羅・松本健一 [責任著者] (2014) 住宅用太陽光発電システム導入に対する補助金制度の有効性の実証研究. *土木学会論文集G (環境)* 70(5). I\_121-I\_128 [[doi.org/10.2208/jscejer.70.I\\_121](https://doi.org/10.2208/jscejer.70.I_121)].
  41. Voudouris, V., Matsumoto, K., Sedgwick, J., Rigby, R., Stasinopoulos, D., and Jefferson, M. (2014) Exploring the Production of Natural Gas through the Lenses of the ACEGES Model. *Energy Policy* 64, 124-133 [[dx.doi.org/10.1016/j.enpol.2013.08.053](https://dx.doi.org/10.1016/j.enpol.2013.08.053)].
  42. Matsumoto, K. and Nakajima, M. (2013) Household Waste Reduction Effect of Sorted Collection of

- Recyclable Waste in Japan. *Journal of Environmental Science and Engineering B* 2(3), 135-141 [[dx.doi.org/10.17265/2162-5263/2013.03.002](https://doi.org/10.17265/2162-5263/2013.03.002)].
43. Okagawa, A., Masui, T., Akashi, O., Hijioka, Y., Matsumoto, K., and Kainuma, M. (2012) Assessment of GHG Emission Reduction Pathways in a Society without Carbon Capture and Nuclear Technologies. *Energy Economics*, 34(S3), 391-398 [[dx.doi.org/10.1016/j.eneco.2012.07.011](https://doi.org/10.1016/j.eneco.2012.07.011)].
  44. Matsumoto, K. (2012) Economic Implications of CO<sub>2</sub> Emission Reduction in Japan Applying a Dynamic CGE Model with Endogenous Technological Change: Use of Emission Permit Revenue. *Journal of Environmental Science and Engineering B* 1(8), 945-956 [[dx.doi.org/10.17265/2162-5263/2012.08.002](https://doi.org/10.17265/2162-5263/2012.08.002)].
  45. Matsumoto, K., Voudouris, V., Stasinopoulos, D., Rigby, R., and Di Maio, C. (2012) Exploring Crude Oil Production and Export Capacity of the OPEC Middle East Countries. *Energy Policy* 48, 820-828 [[dx.doi.org/10.1016/j.enpol.2012.06.027](https://doi.org/10.1016/j.enpol.2012.06.027)].
  46. Matsumoto, K. (2011) Economic Analysis of CO<sub>2</sub> Emission Abatement Applying a Dynamic CGE Model with Endogenous Technological Change: Impacts of the Time Horizon. *Journal of Environmental Science and Engineering* 5(11), 1454-1463.
  47. Masui, T., Matsumoto, K., Hijioka, Y., Kinoshita, T., Nozawa, T., Ishiwatari, S., Kato, E., Shukla, P.R., Yamagata, Y., and Kainuma, M. (2011) An Emission Pathway for Stabilization at 6Wm<sup>-2</sup> Radiative Forcing. *Climatic Change* 109(1-2), 59-76 [[dx.doi.org/10.1007/s10584-011-0150-5](https://doi.org/10.1007/s10584-011-0150-5)].
  48. Meinshausen, M., Smith, S.J., Calvin, K.V., Daniel, J.S., Kainuma, M., Lamarque, J.-F., Matsumoto, K., Montzka, S.A., Raper, S.C.B., Riahi, K., Thomson, A.M., Velders G.J.M., and van Vuuren, D. (2011) The RCP Greenhouse Gas Concentrations and their Extension from 1765 to 2300. *Climatic Change* 109(1-2), 213-241 [[dx.doi.org/10.1007/s10584-011-0156-z](https://doi.org/10.1007/s10584-011-0156-z)].
  49. Matsumoto, K. and Masui, T. (2011) Economic Impacts to Avoid Dangerous Climate Change Using the AIM/CGE Model. *Procedia Environmental Sciences* 6, 162-168 [[dx.doi.org/10.1016/j.proenv.2011.05.017](https://doi.org/10.1016/j.proenv.2011.05.017)].
  50. Matsumoto, K. (2011) Analyzing Economic Impacts of CO<sub>2</sub> Abatement and R&D Promotion in Japan Applying a Dynamic CGE Model with Endogenous Technological Change. *Journal of Global Environment Engineering* 16, 25-33.
  51. Matsumoto, K. and Masui, T. (2011) Analyzing Long-term Impacts of Carbon Tax Based on the Imputed Price Applying the AIM/CGE Model. *Management of Environmental Quality* 22(1), 33-47 [[dx.doi.org/10.1108/14777831111098462](https://doi.org/10.1108/14777831111098462)].
  52. 松本健一 (2010) 内生的技術変化を考慮した動学的応用一般均衡モデルによる気候変動対策の経済分析：日本経済を対象として. *地球環境研究論文集* 18, 53-61.
  53. Matsumoto, K. and Masui, T. (2010) Economic Implication of Avoiding Dangerous Climate Change: An Analysis Using the AIM/CGE[Global] Model. *Journal of Environmental Science and Engineering* 4(7), 76-83.
  54. Matsumoto, K. and Masui, T. (2009) Mid-term Dynamic Effects of Carbon Tax Based on the Imputed Price of Carbon. *Environmental Science* 22(6), 391-400 [[doi.org/10.11353/sesj.22.391](https://doi.org/10.11353/sesj.22.391)].
  55. Matsumoto, K. (2008) Evaluation of an Artificial Market Approach for GHG Emissions Trading Analysis. *Simulation Modelling Practice and Theory* 16(9), 1312-1322 [[dx.doi.org/10.1016/j.simpat.2008.06.010](https://doi.org/10.1016/j.simpat.2008.06.010)].
  56. Matsumoto, K. (2008) Introduction of the Carbon Tax Based on the Imputed Price of Carbon for the Post Kyoto Protocol Scenario. *International Journal of Green Energy* 5(4), 241-254

[[dx.doi.org/10.1080/15435070802229134](https://dx.doi.org/10.1080/15435070802229134)].

57. Matsumoto, K. (2007) Analysis of CO<sub>2</sub> Emissions Trading Considering the Kyoto Protocol Using a Multi-agent Model. *Journal of Policy Studies* 26, 11–18.
58. 松本健一・福田豊生 (2006) エネルギー集約産業に対する環境税減免の国際競争力・CO<sub>2</sub> 排出削減への影響. *環境科学会誌* 19(6), 527–534 [[doi.org/10.11353/sesj1988.19.527](https://doi.org/10.11353/sesj1988.19.527)].
59. Matsumoto, K. and Fukuda, T. (2006) Environmental and Economic Analyses of the Carbon Tax Based on the Imputed Price Using Applied General Equilibrium Model: Taxation on the Upper Industrial Sectors. *Environmental Economics and Policy Studies* 8(1), 89–102 [[doi.org/10.1007/BF03353994](https://doi.org/10.1007/BF03353994)].
60. 松本健一 (2006) 炭素の帰属価格に基づく炭素税の環境・経済分析. *総合政策研究* 23, 41–52.
61. 松本健一・福田豊生 (2006) 応用一般均衡分析を用いた帰属価格に基づく炭素税の環境・経済分析：全産業部門への課税. *環境科学会誌* 19(2), 89–98 [[doi.org/10.11353/sesj1988.19.89](https://doi.org/10.11353/sesj1988.19.89)].
62. 松本健一・石野福弥 (2004) 社会的プロジェクトと非同期コミュニケーション—電力リスク対策プロジェクトを例に—. *プロジェクトマネジメント学会誌* 6(4), 33 – 38 [[doi.org/10.14914/spmj.6.4\\_33](https://doi.org/10.14914/spmj.6.4_33)].

#### 査読無し論文・ワーキングペーパー (\*は筆頭著者ではない責任著者)

1. 李秀澈・何彦旻・崔鐘敏・柳蕙琳・松本健一・李態妍・大塚健司・高橋若菜・明日香壽川 (2021) 東アジアにおける原子力安全に関する日中韓の意識比較分析：日中韓首都住民に対するアンケート調査結果を題材として. *名城大学経済学部 Discussion Paper* 16 [[Link](#)].
2. Matsumoto, K. Tachiiri, K., and Su, X. (2021) Heat Stress and Economic Impacts: A New Modeling Framework to Evaluate Economic Impacts of Climate Change. *SSRN Working Paper Series* 3902906 [[Link](#)].
3. Matsumoto, K. (2021) Economic Analysis of Introducing Renewable Energy in a Remote Island: A Case Study of Tsushima Island, Japan. *USAEE/IAEE Working Paper Series* 21-508 [[Link](#)].
4. Matsumoto, K. and Chen, Y. (2021) Industrial Eco-efficiency and its Determinants in China: A Two-stage Approach. *SSRN Working Paper Series* 3876772 [[Link](#)]. (updated version: Matsumoto and Chen from Ecological Indicators, [doi.org/10.1016/j.ecolind.2021.108072](https://doi.org/10.1016/j.ecolind.2021.108072))
5. Huang, Y. and Matsumoto, K.\* (2021) Indirect Carbon Dioxide Emissions from Interregional Trade in Japan under the Target of Carbon Neutrality. *SSRN Working Paper Series* 3874289 [[Link](#)].
6. Ito, Y., Matsumoto, K., Usup, A., Fukui, T., and Yamamoto, Y. (2020) Edible Bird's Nests: A Way for Sustainable Agricultural Livelihood in Indonesia. *SSRN Working Paper Series* 3531323 [[Link](#)]. (updated version: Ito et al. from Ecosystem Health and Sustainability, [doi.org/10.1080/20964129.2021.1960200](https://doi.org/10.1080/20964129.2021.1960200))
7. Tembata, K., Matsumoto, K., Yamamoto, M., and Yamamoto, Y. (2020) Forest and Floods Mitigation: Evidence from China. *SSRN Working Paper Series* 3515698 [[Link](#)]. (updated version: Tembata et al. from Science of the Total Environment, [doi.org/10.1016/j.scitotenv.2020.138410](https://doi.org/10.1016/j.scitotenv.2020.138410)).
8. Huang, Y. and Matsumoto, K.\* (2019) Impact of Urbanization on Changes in CO<sub>2</sub> Emissions in China: Analysis of 30 Provincial Administrative Units. *SSRN Working Paper Series* 3414208 [[Link](#)] (updated version: Huang and Matsumoto from Journal of Cleaner Production, [doi.org/10.1016/j.jclepro.2021.129000](https://doi.org/10.1016/j.jclepro.2021.129000)).
9. Matsumoto, K. (2018) Global Warming and Socioeconomic Activities: Impact of Labor Productivity. *SSRN*

- Working Paper Series* 3219603 [[Link](#)] (updated version: Matsumoto from *Journal of Cleaner Production*, [doi.org/10.1016/j.jclepro.2018.12.127](https://doi.org/10.1016/j.jclepro.2018.12.127)).
10. Yamamoto, Y. and [Matsumoto, K.](#) (2018) Do Sustainable Forest Managements Affect Forest Conservation? *SSRN Working Paper Series* 3192199 [[Link](#)].
  11. Shigetomi, Y., [Matsumoto, K.](#), Ehara, T., Ochi, Y., Ogawa, Y., Shiraki, H., and Yamamoto, Y. (2018) Socio-Demographic Drivers of Residential CO<sub>2</sub> Emissions in the 47 Prefectures of Japan. *SSRN Working Paper Series* 3156008 [[Link](#)] (updated version: Shigetomi et al. from *Applied Energy*, [doi.org/10.1016/j.apenergy.2018.07.057](https://doi.org/10.1016/j.apenergy.2018.07.057)).
  12. [Matsumoto, K.](#), Ohya, N., and Yamamoto, Y. (2018) Factors to Facilitate Building Long-Life Quality Housing. *SSRN Working Paper Series* 3154211 [[Link](#)] (Updated version: Matsumoto et al. from *International Journal of Environmental Research and Public Health*).
  13. Morita, K. and [Matsumoto, K.](#) (2017) Effective Finance to Enhance REDD Co-Benefits: Lessons from Global Environment Facility Finance. *SSRN Working Paper Series* 2960582 [[Link](#)] (updated version: Morita and Matsumoto from *AGRIVITA Journal of Agricultural Science*, [doi.org/10.17503/agrivita.v40i0.1729](https://doi.org/10.17503/agrivita.v40i0.1729)).
  14. Yamamoto, Y. and [Matsumoto, K.\\*](#) (2017) Determinants of Contraceptive Choice in Nepal. *SSRN Working Paper Series* 2956137 [[Link](#)] (updated version: Yamamoto and Matsumoto from *Sexual and Reproductive Healthcare*, [doi.org/10.1016/j.srhc.2017.09.005](https://doi.org/10.1016/j.srhc.2017.09.005)).
  15. [Matsumoto, K.](#) and Shiraki, H. (2017) Energy Security Performance under Various Socioeconomic Scenarios and Efforts toward Low-carbon Society in Japan. *USAEE/IAEE Working Paper Series* 17-309 [[Link](#)] (updated version: Matsumoto and Shiraki from *Renewable and Sustainable Energy Reviews*, [doi.org/10.1016/j.rser.2018.03.070](https://doi.org/10.1016/j.rser.2018.03.070)).
  16. [Matsumoto, K.](#), Doumpos, M., and Andriosopoulos, K. (2016) Historical Energy Security Analysis of EU Countries. *USAEE/IAEE Working Paper Series* 16-275 [[Link](#)] (updated version: Matsumoto et al. from *Renewable and Sustainable Energy Reviews*, [dx.doi.org/10.1016/j.rser.2017.06.058](https://dx.doi.org/10.1016/j.rser.2017.06.058)).
  17. [Matsumoto, K.](#), Tachiiri, K., and Kawamiya, M. (2016) Do Different Emission Pathways under Fixed Cumulative CO<sub>2</sub> Emissions affect Socioeconomic Conditions? *USAEE/IAEE Working Paper Series* 16-271 [[Link](#)] (updated version: Matsumoto et al. from *Mitigation and Adaptation Strategies for Global Change*, [dx.doi.org/10.1007/s11027-016-9726-8](https://dx.doi.org/10.1007/s11027-016-9726-8)).
  18. Morita, K. and [Matsumoto, K.](#) (2015) Synergy Potential among Climate Change Mitigation, Adaptation, and Biodiversity and Ecosystem Conservation in the Forest Sector. *Journal of Environmental Indicators* 9, 46–47 [[Link](#)].
  19. [Matsumoto, K.](#), Tachiiri, K., and Kawamiya, M. (2015) Evaluating Multiple Emission Pathways for a Fixed Cumulative CO<sub>2</sub> Emission from Socioeconomic Perspectives. *USAEE/IAEE Working Paper Series* 15-221 [[Link](#)].
  20. 松本健一 (2015) 気候安定化目標と社会経済シナリオ分析. *環境情報科学* 44(1), 7–11 (招待論文).
  21. [Matsumoto, K.](#), Tachiiri, K., and Kawamiya, M. (2014) Socioeconomic Analysis of Various Emission Pathways Considering the Uncertainties of Earth System Models. *USAEE/IAEE Working Paper Series* 14-158 [[Link](#)].
  22. [Matsumoto, K.](#), Voudouris, V., and Andriosopoulos, K. (2014) Unconventional Oil: Will it Satisfy Future Global Oil Demand? *USAEE/IAEE Working Paper Series* 14-156 [[Link](#)].

23. 松本健一 (2012) 気候変動対策シナリオにおけるエネルギー構成とエネルギー安全保障. *総合政策研究* 40, 89-94 (招待論文) [[Link](#)].
24. Voudouris, V., Matsumoto, K., Rigby, R., and Stasinopoulos, D. (2011) Exploring the Production of Natural Gas Using ACEGES. *CIBS Working Paper Series* 23 [[Link](#)].
25. 松本健一 (2008) ポスト京都議定書における帰属炭素税. *総合政策研究* 30, 139-150 [[Link](#)].
26. 松本健一 (2005) 温室効果ガス排出権取引市場の比較分析. *Kwansei Gakuin Policy Studies Review* 4, 1-13.

## 書籍

1. Matsumoto, K. and Gao, A.M.Z. (eds.) (2015) Economic Instruments to Combat Climate Change in Asian Countries. Kluwer Law International, Alphen aan den Rijn, 212p [[Link](#)].

## 査読付き書籍の分担執筆 (\*は筆頭著者ではない責任著者)

1. Huang, Y., Li, C., and Matsumoto, K.\* (2021) Historical Energy Security Performances of China: A Bi-Level Analysis. Ren, J. (ed.) *China's Energy Security: Analysis, Assessment and Improvement*. 61-91, World Scientific Publishing, Singapore [[doi.org/10.1142/9781786349224\\_0003](https://doi.org/10.1142/9781786349224_0003)].
2. Matsumoto, K., and Fujimori, S. (2019) CGE Models in Energy Economics. Soytaş, U. and Sarı, R. (eds.) *Routledge Handbook of Energy Economics*. 431-444, Routledge, Oxon and New York [[Link for book](#)].
3. Lee, T., Chewpreecha, U., Na, S., He, Y., Chen, L., Matsumoto, K., and Lee, S. (2019) The Impacts of Combined Policies to Promote Sustainable Low-carbon Power Generation in East Asia. Lee, S., Pollitt, H., and Fujikawa, K. (eds.) *Energy, Environmental and Economic Sustainability in East Asia*. 68-95, Routledge, Oxon and New York [[Link for book](#)].
4. Azuma, A., Chewpreecha, U., Na, S., Chen, L., He, Y., Matsumoto, K., and Lee, S. (2019) Regulatory Policies to Reduce the Amount of Nuclear and Coal-fired Power Generation in East Asia. Lee, S., Pollitt, H., and Fujikawa, K. (eds.) *Energy, Environmental and Economic Sustainability in East Asia*. 17-48, Routledge, Oxon and New York [[Link for book](#)].
5. Matsumoto, K. (2018) Energy Security Performance in Japan: Historical and Scenario Analysis. In: Hsu, S. (ed.) *Routledge Handbook of Sustainable Development in Asia*. 596-610, Routledge, Oxon and New York [[Link for book](#)].
6. Lee, S., Liu, X., Matsumoto, K., Na, S., and Chen, L. (2015) Energy Systems and Environmental Policy in East Asia. In: Lee, S., Pollitt, H., and Park, S. (eds.) *Low-carbon, Sustainable Future in East Asia*. 1-28, Routledge, Oxon and New York [[Link for book](#)].
7. Ogawa, Y., Mercure, J.F., Lee, S., Pollitt, H., Matsumoto, K., and Chiashi, A. (2015) Modeling the Power Sector in East Asia: Economic and Environmental Impacts of the Choices of Power Sources. In: Lee, S., Pollitt, H., and Park, S. (eds.) *Low-carbon, Sustainable Future in East Asia*. 63-72, Routledge, Oxon and New York [[Link for book](#)].
8. Matsumoto, K. (2015) Energy Structure and Energy Security under Climate Mitigation Scenarios in East Asia. In: Lee, S., Pollitt, H., and Park, S. (eds.) *Low-carbon, Sustainable Future in East Asia*. 106-117, Routledge, Oxon and New York [[Link for book](#)].
9. Morita, K. and Matsumoto, K. (2015) Enhancing Biodiversity Co-benefits of Adaptation to Climate Change.

- In: Leal, W. (ed.) Handbook of Climate Change Adaptation. 953-972, Springer, Berlin [[dx.doi.org/10.1007/978-3-642-38670-1\\_21](https://doi.org/10.1007/978-3-642-38670-1_21)].
10. Morita, K. and Matsumoto, K. (2015) Financing Adaptation to Climate Change in Developing Countries. In: Leal, W. (ed.) Handbook of Climate Change Adaptation. 983-1005, Springer, Berlin [[dx.doi.org/10.1007/978-3-642-38670-1\\_22](https://doi.org/10.1007/978-3-642-38670-1_22)].
  11. Matsumoto, K. and Gao, A.M.Z. (2015) Using Economic Instruments for Combating Climate Change in Asia. In: Matsumoto, K. and Gao, A.M.Z. (eds.) Economic Instruments to Combat Climate Change in Asian Countries. 1-6, Kluwer Law International, Alphen aan den Rijn.
  12. Morita, K. and Matsumoto, K. (2015) Tax for Climate Change Mitigation in Japan. In: Matsumoto, K. and Gao, A.M.Z. (eds.) Economic Instruments to Combat Climate Change in Asian Countries. 7-24, Kluwer Law International, Alphen aan den Rijn.
  13. Gao, A.M.Z. and Matsumoto, K. (2015) Conclusion: The Unusual Pace in Addressing Climate Change in Asia. In: Matsumoto, K. and Gao, A.M.Z. (eds.) Economic Instruments to Combat Climate Change in Asian Countries. 195-197, Kluwer Law International, Alphen aan den Rijn.
  14. Morita, K. and Matsumoto, K. (2014) Renewable Energy-Related Policies and Institutions in Japan: Before and after the Fukushima Nuclear Accident and the Feed-In Tariff Introduction. In: Gao, A.M.Z. and Fan, C.T. (eds.) Legal Issues of Renewable Electricity in Asia Region: Recent Development at a Post-Fukushima and Post-Kyoto Protocol Era. 3-28, Kluwer Law International, Alphen aan den Rijn [[Link for chapter](#), [Link for book](#)].
  15. Matsumoto, K. (2013) Change in Energy Structure and Energy Security under Climate Mitigation Scenarios. In: Leal, W. and Voudouris, V. (eds.) Global Energy Policy and Security. 45-57, Springer, London [[dx.doi.org/10.1007/978-1-4471-5286-6\\_4](https://doi.org/10.1007/978-1-4471-5286-6_4)].

### その他書籍の分担執筆

1. 松本健一 (2018) 内生的技術変化. 環境経済・政策学会編『環境経済・政策学事典』450-451, 丸善出版 [[Link](#)].
2. 松本健一 (2015) 図表の作り方 (コラム4). 滋賀県立大学環境フィールドワーク研究会編『フィールドワーク心得帖 [新版]』88-90, サンライズ出版.
3. 松本健一・明石修・花岡達也・増井利彦 (2014) 温暖化対策モデル. 国立環境研究所地球環境研究センター編『地球温暖化の事典』298-302, 丸善出版 [[Link](#)].

### 学会プロシーディングス・発表 (審査有り含む)

1. Yokohata, T., Kinoshita, T., Sakurai, G., Satoh, Y., Pokhrel, Y., Ito, A., Okada, M., Kato, E., Fujimori, S., Tachiiri, K., Matsumoto, K., Emori, S., and Takahashi, K. (2021) Future Projection for the Impacts of Socio-economic and Climate Changes on Water, Food, Bioenergy, Ecosystems and Land Use. Fourteenth IAMC Annual Meeting 2021: Virtual.
2. 松本健一・松村悠子 (2021) 離島における再生可能エネルギー電力拡大の経済波及効果: 長崎県対馬市を事例として. 環境科学会 2021 年会: バーチャル.
3. Tanaka, K., Matsumoto, K., Keeley, A., and Managi, S. (2021) The Impact of Climate Change on the Supply and Demand for Electric Power and Wholesale Prices for Electricity in Germany. 1st IAEE Online

- Conference: Virtual [審査有].
4. Najm, S. and Matsumoto, K. (2021) Does Renewable Energy Substitute LNG International Trade in the Energy Transition? 1st IAEE Online Conference: Virtual [審査有].
  5. Tachiiri, K., Su, X., Matsumoto, K., Hajima, T., and Yokohata, T. (2021) Development of a Coupled Earth and Socio-economic System Model. Japan Geoscience Union Meeting 2021: Virtual (ポスター) [審査有].
  6. Suzuki, H. and Matsumoto, K. (2021) Evaluation of Transportation Demand Management Package Policy in Local Areas: a Case Study of Itoshima City, Fukuoka Prefecture. EcoBalance 2020: Virtual.
  7. Zhang, T. and Matsumoto, K. (2021) Relative Significance of Competitiveness Determinants of Solar Photovoltaic Power Generation in China: Porter Diamond Model and AHP. EcoBalance 2020: Virtual.
  8. Li, C. and Matsumoto, K. (2021) Climate Change Impacts on Rice Production by Prefecture in Japan. EcoBalance 2020: Virtual.
  9. Huang, Y. and Matsumoto, K. (2021) Urbanization and Carbon Dioxide Emissions: Index Decomposition Analysis for 30 Provinces in China. EcoBalance 2020: Virtual.
  10. Chen, Y. and Matsumoto, K. (2020) Industrial Eco-efficiency and its Determinants in China: Data Envelopment and Tobit Regression Analyses. Annual Conference of Society for Environmental Economics and Policy Studies 2020: Virtual.
  11. 松村悠子・松本健一 (2020) 離島における再生可能エネルギー導入の経済波及効果：長崎県対馬市を事例として. 環境科学会 2020 年会：バーチャル.
  12. Matsumura, Y. and Matsumoto, K. (2020) Qualitative and Quantitative Analyses of Introducing Renewable Energy in a Remote Island: A Case Study of Tsushima Island, Japan. 15th Conference on Sustainable Development of Energy, Water, and Environment Systems: Virtual [審査有].
  13. Matsumoto, K. and Najm, S. (2020) LNG Trade and the Energy Transition: Trade Gravity Model Considering Renewable Energy Policy. 15th Conference on Sustainable Development of Energy, Water, and Environment Systems: Virtual [審査有].
  14. Zhang, T. and Matsumoto, K. (2020) Analysis of Renewable Energy Electricity Generation Industries Competitive in China by Michael Porter Diamond Model and Analytic Hierarchy Process. 30th Anniversary International Academic Conference of the Korea Environmental Economics Association: Virtual.
  15. Tachiiri, K., Matsumoto, K., and Su, X. (2020) Overview of the Processes Interacting between Earth and Socioeconomic Systems. JpGU-AGU Joint Meeting 2020: Virtual [審査有].
  16. Ohgaito, R., Kawamiya, M., Hajima, T. and Matsumoto, K. (2020) Will the Pandemic of COVID-19 Change Climate?: Tests Using MIROC-ES2L Earth System Model. JpGU-AGU Joint Meeting 2020: Virtual [審査有].
  17. Huang, Y. and Matsumoto, K. (2019) Impact of Urbanization on CO<sub>2</sub> emissions in China: Analysis of 30 Provincial Administrative Units. 環境科学会 2019 年会：名古屋大学 (ポスター) .
  18. 森田香菜子・松本健一 (2019) 森林分野を事例とした SDGs 達成のための科学・政策インターフェースの課題. 環境科学会 2019 年会：名古屋大学.
  19. Shigetomi, Y., Chapman, A., Nansai, K. Matsumoto, K., and Tohno, S. (2019) Visualizing Subjectively Weighted Lifecycle-based Social Equity. 27th International Input-Output Association Conference: Glasgow, UK [審査有].
  20. Keeley, A. and Matsumoto, K. (2019) AHP Analysis to Explore Relative Significance of Foreign Direct



- Investment in Renewable Energy Sectors in Developing Countries. 42nd IAEE International Conference: Montreal, Canada [審査有].
21. Makridou, G., Matsumoto, K., and Doumpos, M. (2019) Measuring the Environmental Performance of European Countries. 4th HAEE Annual Symposiums. Athens, Greece [審査有].
  22. 松本健一 (2018) 経済モデルによる環境・エネルギー政策の分析に関する研究. 環境科学会 2018年会: 東洋大学 [招待講演].
  23. Matsumoto, K. Shigetomi, Y., Shiraki, H., Ochi, Y., Ogawa, Y., and Ehara, T. (2018) Regional-scale Decomposition Analysis of CO<sub>2</sub> Emissions of the Manufacturing Industry in Japan. 41st IAEE International Conference: Groningen, Netherlands [審査有].
  24. Shigetomi, Y., Matsumoto, K. Shiraki, H., Ochi, Y., Ogawa, Y., Ehara, T., and Yamamoto, Y. (2018) Influence of Regional Socio-economic Drivers on Residential CO<sub>2</sub> Emissions in Japan. 41st IAEE International Conference: Groningen, Netherlands (poster presentation) [審査有].
  25. 白木裕斗・松本健一・重富陽介・榎原友樹・越智雄輝・小川祐貴 (2018) 輸送効率を考慮した地域別自動車CO<sub>2</sub> 排出量の要因分解. 第37回エネルギー・資源学会研究発表会: 大阪国際会議場 [審査有].
  26. Matsumoto, K. and Tachiiri, K. (2018) Impact of Climate Change on Human Activities: Review. 日本地球惑星科学連合 2018年大会: 幕張メッセ (口頭・ポスター) [審査有].
  27. Matsumoto, K. (2018) Global Warming Impact on Future Socioeconomic Activities through Labor Productivity. 3rd HAEE International Conference: Athens, Greece [審査有].
  28. 重富陽介・松本健一・榎原友樹・越智雄輝・小川祐貴・白木裕斗・山本裕基 (2018) 47都道府県の民生CO<sub>2</sub>排出変化量の要因分析. 第13回日本LCA学会研究発表会: 早稲田大学.
  29. 立入郁・松本健一 (2017) 気候-社会経済システムフィードバックを考慮した温暖化予測に向けて. 気象学会 2017年度秋季大会: 北海道大学 (ポスター).
  30. 森田香菜子・松本健一 (2017) 途上国における持続可能な森林保全・管理のための効果的な資金供与: カンボジアを事例として. 環境科学会 2017年会: 北九州国際会議場.
  31. Matsumoto, K. Shigetomi, Y., Ehara, T., Ochi, Y., Ogawa, Y., Shiraki, H., and Yamamoto, Y. (2017) Addressing the key drivers of regional energy consumption of the manufacturing industry in Japan. 8th International Conference on Life Cycle Management: Luxemburg, Luxemburg (poster presentation) [審査有].
  32. Azuma, A., Chewpreecha, U., Na, S-I., Chen, L-C., He, Y., Lee, S., and Matsumoto, K. (2017) Modeling the Power Generation Sectors of East Asia in 2050 – the choice of Power Sources by Regulation of Nuclear and Coal Power. Seventh Congress of the East Asian Association of Environmental and Resource Economics, Singapore.
  33. Lee, T-Y., Chewpreecha, U., Na, S-I., He, Y., Chen, L-C., and Matsumoto, K. (2017) Modelling the Power Sectors in East Asia: the Choice of Power Sources by Feed-in Tariff and Carbon Taxes to Meet the 2030 NDCs and 2050 CO<sub>2</sub> Targets. Seventh Congress of the East Asian Association of Environmental and Resource Economics, Singapore.
  34. Tachiiri, K., Matsumoto, K., and Silva, D.H. (2017) ESM-IAM Linkage in the Program for Risk Information on Climate Change and a Following Project. 10th International Carbon Dioxide Conference: Bern, Switzerland [審査有].

35. Keeley, A.R. and Matsumoto, K. (2017) Investors' Perspective on Determinants of Foreign Direct Investment in Renewable Energy in Developing Economies -What is Really Significant? 2nd HAEE International Conference: Athens, Greece [審査有].
36. Matsumoto, K., Ikuta, H., and Shiraki, H. (2017) Energy Security Performance in Japan under Different Socioeconomic and Energy Conditions. 2nd HAEE International Conference: Athens, Greece [審査有].
37. Matsumoto, K. (2016) Energy security performance in Japan: past and future. 9th International Scientific Conference on Energy and Climate Change: Athens, Greece [審査有].
38. Morita, K. and Matsumoto, K. (2016) Effective Forest Finance to Enhance Climate Change Mitigation, Adaptation and Biodiversity: Lessons from Global Environment Facility Finance. 9th International Scientific Conference on Energy and Climate Change: Athens, Greece [審査有].
39. Morita, K. and Matsumoto, K. (2016) Institutions for Enhancing Co-benefits of Forest Conservation. 2nd Asian Conference on Management and Sustainability: Hiroshima, Japan [審査有].
40. Matsumoto, K., Tachiiri, K., and Kawamiya, M. (2016) Socioeconomic implications of cumulative CO<sub>2</sub> emissions in the 21st century under climate mitigation scenarios. 11th Conference on Sustainable Development of Energy, Water, and Environment Systems: Lisbon, Portugal [審査有].
41. Matsumoto, K., Doupos, M., and Andriopoulos, K. (2016) Historical energy security analysis for EU countries. 11th Conference on Sustainable Development of Energy, Water, and Environment Systems: Lisbon, Portugal (poster presentation) [審査有].
42. 松本健一 (2016) 日本におけるエネルギー安全保障パフォーマンスの変化. 第32回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス：砂防会館.
43. 立入郁・羽島知洋・松本健一・Diego Silva Herran・渡辺真吾・河宮未知生 (2016) 地球システムモデルと土地利用の取扱い～社会経済モデルとの連携に向けて. 第32回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス：砂防会館.
44. Silva, D., Tachiiri, K., and Matsumoto, K. (2015) Energy Consumption under RCP4.5 Mitigation Scenario Using Economic Models. Poster Session. 2015 Fall Meeting of Meteorological Society of Japan: Kyoto Terra, Japan.
45. Morita, K. and Matsumoto, K. (2015) Synergy Potential among Climate Change Mitigation, Adaptation, and Biodiversity and Ecosystem Conservation in the Forest Sector. 21st International Conference on Environmental Indicators: Windsor, Canada [審査有].
46. 松本健一 (2015) 気候変動対策とエネルギー安全保障：日本を対象として. 第34回エネルギー・資源学会研究発表会：砂防会館.
47. Matsumoto, K., Tachiiri, K., and Kawamiya, M. (2015) Evaluating Multiple Emission Pathways for Fixed Cumulative CO<sub>2</sub> Emissions from Socioeconomic Perspectives. IAEE International Conference 2015: Antalya, Turkey [審査有].
48. Matsumoto, K. (2014) Energy Structure and Energy Security under Climate Mitigation Scenarios in China. 4th IAEE Asian Conference: Beijing, China [審査有].
49. 中田沙羅・松本健一 (2014) 住宅用太陽光発電システム導入に対する補助金制度の有効性の実証研究. 第22回地球環境シンポジウム：中央大学.
50. Matsumoto, K., Tachiiri, K., and Kawamiya, M. (2014) Evaluating Different Emission Pathways for Fixed Cumulative CO<sub>2</sub> Emissions in the 21st Century. 53rd Meeting of the EWGCFM and 2nd International

- Conference of the RCEM: Chania, Greece [審査有].
51. Matsumoto, K. and Tachiiri, K. (2014) Integration of Climate and Economic Modeling Studies. Japan Geoscience Union Meeting 2014: Pacifico Yokohama, Japan.
  52. Matsumoto, K., Voudouris, V., and Andriosopoulos, K. (2014) Unconventional Oil: Will it Satisfy Future Global Oil Demand? ICCM 2014-International Conference on Commodity Markets: Paris, France [審査有].
  53. Matsumoto, K. and Morita, K. (2013) Adaptation Financing in Developing Countries in the Asian Region. Annual Conference of Society for Environmental Economics and Policy Studies 2013: Kobe University, Japan.
  54. Morita, K. and Matsumoto, K. (2013) Institutional Linkages for Ecosystem-Based Adaptation. Annual Conference of Society for Environmental Economics and Policy Studies 2013: Kobe University, Japan.
  55. Morita, K. and Matsumoto, K. (2013) Japan's Feed in Tariff Effective in 2012, and its Implementation in the post-Fukushima Era. International Joint Conference on Changing Energy Law and Policy in Asia Region: Hsinchu, Taiwan, *Invited*.
  56. Matsumoto, K., Tachiiri, K., and Kawamiya, M. (2013) Socioeconomic Impacts to Achieve a Certain Radiative Forcing Level Considering Uncertainties of ESMs. IAEE International Conference 2013: Daegu, Korea [審査有].
  57. Matsumoto, K. and Voudouris, V. (2013) Potential Impacts of Unconventional Oil Resources on Major Oil Producing Countries -Scenario Analysis by the ACEGES Model-. 32nd Conference of Japan Society of Energy and Resources: Tokyo, Japan.
  58. Matsumoto, K., Voudouris, V., and Andriosopoulos, K. (2013) Potential Impacts of Unconventional Resources on Energy Markets. 51st Meeting of the Euro Working Group on Financial Modelling/1st Conference of the Research Centre for Energy Management: London, UK [審査有].
  59. 立入郁・松本健一・河宮未知生 (2013) 安定化目標値設定に向けた社会経済シナリオに関する検討・情報収集. 日本気象学会 2013 年度春季大会 : 国立オリンピック記念青少年総合センター.
  60. Voudouris, V. and Matsumoto, K. (2012) The ACEGES Laboratory for Energy Policy. IIASA 40th Anniversary Conference: Laxenburg, Austria.
  61. Matsumoto, K. and Voudouris, V. (2012) Scenario Analysis of Future Natural Gas Production Using an Agent-based Model 'ACEGES'. IAEE International Conference 2012: Perth, Australia [審査有].
  62. Matsumoto, K. (2011) The AIM/CGE [Global] Model: Representative Concentration Pathways Analysis for the IPCC 5th Assessment Report. 3rd CIBS Annual Conference: London, UK.
  63. Matsumoto, K. (2011) Exploring the Future of Global Natural Gas Production Using ACEGES. 3rd CIBS Annual Conference: London, UK.
  64. Matsumoto, K. (2010) Analyzing a Climate Change Policy Using a Dynamic CGE Model with Endogenous Technological Change: Tax Revenue for Subsidies on R&D Investment. Annual Conference of Society for Environmental Economics and Policy Studies 2010: Nagoya University, Japan.
  65. Matsumoto, K. and Okagawa, A. (2010) Analysis of Economic and Environmental Impacts of CO<sub>2</sub> Abatement in Japan Applying a CGE Model with Knowledge Investment. International Conference on Economic Modeling 2010: Istanbul, Turkey [審査有].
  66. Warren, R., Arnell, N., Berry, P., Brown, S., Dicks, L., Gosling, S., Hankin, R., Hope, C., Lowe, J., Matsumoto, K., Masui, T., Nicholls, R., O'Hanley, J., Osborn, T., Screicru, S. (2010) AVOID Work Stream

- One. Earth System Science 2010: Edinburgh, UK [審査有].
67. Matsumoto, K. and Masui, T. (2010) Economic Impacts to Avoid Dangerous Climate Change Using the AIM/CGE Model. Earth System Science 2010: Edinburgh, UK [審査有].
  68. Warren, R. and the AVOID-WS1 Team (2010) Key Conclusions from AVOID Work Stream One. European Geosciences Union General Assembly 2010: Vienne, Austria [審査有].
  69. Matsumoto, K. and Masui, T. (2010) An Economic Aspect of the AVOID Programme: Analysis Using the AIM/CGE Model. European Geosciences Union General Assembly 2010: Vienne, Austria [審査有].
  70. Matsumoto, K. and Masui, T. (2009) Long-term Dynamic Effects of Carbon Tax Based on the Imputed Price of Carbon. 5th Dubrovnik Conference on Sustainable Development of Energy, Water and Environment Systems: Dubrovnik, Croatia [審査有].
  71. Matsumoto, K. and Masui, T. (2009) Mid-term Dynamic Effects of Carbon Tax Based on the Imputed Price of Carbon. Annual Conference of Society of Environmental Science 2009: Hokkaido University, Japan.
  72. Matsumoto, K. and Masui, T. (2009) Short-term Dynamic Effects of Carbon Tax Based on the Imputed Price of Carbon. Annual Conference of Society for Environmental Economics and Policy Studies 2009: Chiba University, Japan.
  73. 松本健一 (2008) 温室効果ガス排出権取引分析への人工市場アプローチの適用ーモデルの評価ー. 環境経済・政策学会 2008年大会：大阪大学.
  74. Matsumoto, K. (2008) International Emissions Trading as a Climate Change Policy Considering a Fine: An Analysis Applying a Multi-agent Model. International Conference on Policy Modeling 2008: Berlin, Germany [審査有].
  75. Matsumoto, K. (2007) Analysis of International Emissions Trading When Speculators Participate Using a Multi-agent Model. Annual Conference of Society for Environmental Economics and Policy Studies 2007: Shiga University, Japan.
  76. Matsumoto, K. (2007) Analysis of International Emissions Trading Considering Worldwide Participation Using a Multi-Agent Simulation Model. Annual Conference of Society of Environmental Science 2007: Nagasaki University, Japan.
  77. Matsumoto, K. (2007) A Multi-Agent Model to Analyze CO<sub>2</sub> Emissions Trading. International Conference on Energy and Environmental Modeling 2007: Moscow, Russia [審査有].
  78. Matsumoto, K. (2007) Analysis of International Emissions Trading System Applying Multi-Agent Model -Considering the Kyoto Protocol-. International Conference on Energy and Environmental Modeling 2007: Moscow, Russia [審査有].
  79. Matsumoto, K. (2007) Potential Role of Developing Countries on the International Climate Change Policy from the Viewpoint of Participation. International Conference on Energy and Environmental Modeling 2007: Moscow, Russia [審査有].
  80. Matsumoto, K. (2007) Introduction of the Carbon Tax Based on the Imputed Price of Carbon for the Post Kyoto Protocol Scenario. 3rd International Green Energy Conference: Malardalen University, Sweden [審査有].
  81. Matsumoto, K. (2007) Quantitative Analysis of the Monopolistic Power of Economies in Transition in the International Emissions Trading. Tenth Annual Conference on Global Economic Analysis: Purdue University, USA [審査有].

82. Matsumoto, K. (2006) China's Potential Roles on Climate Change Measures -Concept of Multi-Agent Model-, Annual Conference of Society for Environmental Economics and Policy Studies 2006: Kyoto, Japan.
83. 松本健一・福田豊生 (2006) エネルギー集約産業に対する環境税減免の国際競争力・CO<sub>2</sub> 排出削減への影響. 環境科学会 2006 年会：上智大学.
84. Matsumoto, K. and Fukuda, T. (2006) Analysis of the Effects of the Carbon Taxes Based on Imputed Price of Carbon. International Conference on Policy Modeling 2006: Hong Kong [審査有].
85. 松本健一 (2005) 応用一般均衡分析による帰属価格の概念に基づく炭素税の効果分析. 環境経済・政策学会 2005 年大会：早稲田大学.
86. 松本健一 (2005) 帰属価格に基づく炭素税に関する環境・経済分析：上流部門に対する課税. 環境科学会 2005 年会：名古屋大学.
87. 松本健一・福田豊生 (2005) 温室効果ガス排出権取引市場の比較分析. 政策分析ネットワーク第 6 回政策メッセ：関西学院大学.
88. Matsumoto, K., Ishino, F., and Sasaki, H. (2004) Some Considerations on Electric Power Risk. 33rd International Conference on Computers and Industrial Engineering: Jeju, Korea [審査有].
89. Sasaki, H., Matsumoto, K., Noguti, K., Hayashi, I., and Kawasaki, K. (2004) The Value Decreasing Patterns of PCs, Used Cars, and Drinks. 33rd International Conference on Computers and Industrial Engineering: Jeju, Korea [審査有].
90. Ishino, F., Sasaki, H., and Matsumoto, K. (2004) SCM Considering Product Value Diminish by Time. 33rd International Conference on Computers and Industrial Engineering: Jeju, Korea [審査有].

#### その他学会等発表（イタリックは招待発表）

1. Matsumoto, K. (2021) *Health in Environmental Economics. COVID-19 and Global Health Satellite Event: Planetary Health: Virtual.*
2. 松本健一 (2019) 経済モデルによる気候変動緩和策の分析. RIEEM 領域横断ワークショップ：早稲田大学.
3. Matsumoto, K. (2019) *Addressing the Key Drivers of Regional Energy Consumption of the Manufacturing Industry in Japan. NU WISE Programme Kick-off Symposium: Nagasaki, Japan.*
4. Matsumoto, K. (2019) *Global Warming Impact on Future Socioeconomic Activities through Labor Productivity. NU WISE Programme Kick-off Symposium: Nagasaki, Japan.*
5. Matsumoto, K. (2018) *Carbon Market Developments in Northeast Asia – 2018 and Beyond. The Future of Carbon Markets in Northeast Asia and Pathways for Cooperation: Washington D.C., U.S.*
6. 松本健一ほか (2017) 原発および石炭火力の規制と 2050 年の持続可能な電源ミックスビジョン. 東アジアの持続可能な未来に向けたエネルギー・資源・土地利用の大転換と制度改革：名古屋大学.
7. Matsumoto, K. et al. (2017) *Panel Discussion: Article 6 of Paris Agreement and its Implications for Northeast Asian Carbon Market Cooperation. International Conference on Article 6 of Paris Agreement and Northeast Asian Carbon Market. Korea University: Korea, Invited.*
8. Matsumoto, K. (2017) *Japanese Carbon Pricing Trends and Regional Connectivity. International Conference on Article 6 of Paris Agreement and Northeast Asian Carbon Market. Korea University: Korea, Invited.*

9. Morita, K. and Matsumoto, K. (2017) Finance for REDD+ to Enhance Mitigation and Adaptation and Biodiversity Co-benefits: Lessons from the Global Environment Facility. 2017 AIM International Workshop (poster). National Institute for Environmental Studies: Japan.
10. Matsumoto, K. (2016) *What are the steepest impediments to linking regional carbon markets? Building Carbon Market Cooperation in Northeast Asia.* Dorint Hotel: Germany, Invited (as an discussion leader).
11. Tachiiri, K., Matsumoto, K. and Silva, D.H. (2016) Investigating climate stabilization scenarios using ESM, EMIC, and IAMs: an introduction of our activity in Program for Risk Information on Climate Change. CESM Joint Societal Dimensions and Land Model Working Group Meeting: Boulder, US.
12. 松本健一 (2015) 気候変動対策下でのエネルギー安全保障: CGE モデルを用いた分析. 東アジアの持続可能な低炭素経済に向けて—エネルギーシステム、エネルギー税制、政策協調のあり方—: 名古屋大学
13. Matsumoto, K. (2015) *Cumulative Carbon Emissions, and economy and energy.* Research Institute for the Environment and Trade (RIET) Workshop: Waseda University, Japan, Invited.
14. 松本健一 (2015) 気候変動対策とエネルギー安全保障: RCP シナリオを用いた分析. 環境と貿易研究所研究会: 京都産業大学
15. Matsumoto, K. (2014) *Evaluating Multiple Emission Pathways for Fixed Cumulative CO<sub>2</sub> Emissions from Socioeconomic Perspectives.* International Workshop on Risk Information on Climate Change: Japan Agency for Marine-earth Science and Technology, Japan, Invited.
16. 松本健一 (2014) 気候緩和シナリオ下のエネルギー構成・安全保障: 東アジアを対象として. シンポジウム「東アジアのエネルギー・環境政策選択」: 名古屋大学
17. Matsumoto, K. (2014) Integration of ESM and IAM Studies. International Workshop on Climate System Modeling: Climate 2014: Honolulu, US.
18. 松本健一 (2014) エネルギーシナリオ・政策の分析. 第1回エネルギー政策研究会: 慶應義塾大学
19. 松本健一 (2013) 地球の中のモンゴル経済: 気候変動緩和策の社会経済的評価の構想. 地球研 IS「伝統知と現代科学の融合による地球温暖化対応策の提言: 地域および全球スケールでの試み」研究会「モンゴル地域研究: これまでの成果と残された課題 (その1)」: 総合地球環境学研究所.
20. 松本健一 (2013) 環境を総合的な視点から考える、そして応用一般均衡モデル. 第8回日本LCA学会研究発表会学生交流ネットワークセミナー: 立命館大学
21. Voudouris, V. and Matsumoto, K. (2013) *Description of the ACEGES Model. Analysis of Future Oil Supply Prospects:* London, UK, Invited.
22. Matsumoto, K. (2012) *Understanding Markets via an Agent-based Modelling Approach.* Workshop on Modelling Carbon Prices – Interacting agent networks & Strategies under Risk: Potsdam, Germany (Panel Discussion), Invited.
23. Matsumoto, K. (2012) *Application of an Artificial Market Approach to Carbon Market Analysis.* Workshop on Modelling Carbon Prices – Interacting agent networks & Strategies under Risk: Potsdam, Germany, Invited.
24. Matsumoto, K. (2011) *The AIM/CGE [Global] Model for Climate Change Scenarios.* STORM Seminar: London Metropolitan University, UK, Invited.
25. Matsumoto, K. (2011) *Economic Implications of Avoiding Dangerous Climate Change.* Rokko Forum: Kobe

*University, Japan (in Japanese), Invited.*

26. Matsumoto, K. (2011) *RCP6: An Emission Pathway for Stabilization of Radiative Forcing by 2100 and its Socioeconomic Impacts. 3rd International Workshop on Global Change Projection: Modeling, Intercomparison, and Impact Assessment jointly with 4th International Workshop on KAKUSHIN Program: Epochal Tsukuba, Japan, Invited.*
27. Masui, T., Okagawa, A., Matsumoto, K., Fujimori, S., and Dai, H. (2011) AIM/CGE for Global and Country Analysis. 16th AIM International Workshop: National Institute for Environmental Studies, Japan.
28. Matsumoto, K. (2010) Regional and Spatial Analysis on 3E under a Constraint on Radiative Forcing: Integrated Assessment Using Economic, Land-use, and Ecosystem Models. 15th AIM International Workshop: National Institute for Environmental Studies, Japan.
29. Matsumoto, K. (2009) Energy Mix Change and Energy Security Improvement through Climate Change Mitigation: Analysis of the RCP Cases. Joint TERI-ETSAP Workshop: New Delhi, India.
30. Matsumoto, K. (2009) *The Pathway to Achieve 6W/m<sup>2</sup> Stabilization of Radiative Forcing in 2100. Center for the Environment and Trade Research 2nd Workshop (Computable General Equilibrium Analysis of Climate and Trade Policy): Sophia University, Japan, Invited.*
31. Masui, T., Matsumoto, K., Hijioka, Y., Kinoshita, T., and Ishiwatari, S. (2009) Emission Pathway for 6W/m<sup>2</sup>. IAMC Meeting: Tsukuba, Japan.
32. Matsumoto, K. (2009) The AIM/CGE [Global] Model -The Dynamic Structure-. AIM Training Workshop 2009: National Institute for Environmental Studies, Japan.
33. Matsumoto, K. (2009) The AIM/CGE [Global] Model -The Basic Structure and Dataset-. AIM Training Workshop 2009: National Institute for Environmental Studies, Japan.
34. Matsumoto, K. (2009) *Scenarios toward the Next IPCC Assessment Report. IR3S-Tyndall Centre Joint Symposium: Norwich, UK, Invited.*
35. Matsumoto, K. (2009) International Transition Scenario -Results of AIM-. Energy Modeling Forum Study 22: Transition Policy Subgroup Meeting: Maryland, USA.
36. Matsumoto, K. (2009) GHG Mitigation Potentials and Costs in World Regions in 2020 -Contribution of AIM to GHG Mitigation Target in 2020 in Japan-. International Costs Assessment Workshop: Maryland, USA.
37. Matsumoto, K. (2009) Outline of Global Modeling and AIM Results of Representative Concentration Pathway. 14th AIM International Workshop: National Institute for Environmental Studies, Japan.
38. Matsumoto, K. (2008) Explanation of GAMS Code of Dynamic Global CGE Model. AIM Training Workshop 2008: National Institute for Environmental Studies, Japan.
39. Matsumoto, K. (2008) Basic Structure of Global CGE Model and Dataset. AIM Training Workshop 2008: National Institute for Environmental Studies, Japan.
40. Matsumoto, K. (2008) *Application of Multi-agent Models for Emissions Trading Analysis. Expert Workshop: Towards the Next Generation of Climate Policy Models: Berlin, Germany, Invited.*
41. 松本健一 (2007) 「持続可能な開発」のための私たちの役割. 北米Week2007: 神戸大学 (パネルディスカッション).
42. 松本健一 (2007) マルチエージェントモデルを用いた排出権取引制度の分析. 第21回持続可能性研究会: 関西学院大学.

43. 松本健一 (2004) 温室効果ガス排出権取引市場の比較分析. 第13回持続可能性研究会: 関西学院大学.

## 報告書

1. 松本健一 (2021) 地球-社会経済システム相互作用. 海洋研究開発機構編. 統合的気候モデル高度化研究プログラム「炭素循環・気候感度・ティッピング・エレメント等の解明」令和2年度研究成果報告書, 171-176.
2. 松本健一 (2020) CGE-EMIC 結合モデルのフレームワークの構築. 海洋研究開発機構編. 統合的気候モデル高度化研究プログラム「炭素循環・気候感度・ティッピング・エレメント等の解明」令和元年度研究成果報告書, 176-180.
3. 松本健一 (2019) 地球-社会経済システム相互作用: 社会経済的影響の評価. 海洋研究開発機構編. 統合的気候モデル高度化研究プログラム「炭素循環・気候感度・ティッピング・エレメント等の解明」平成30年度研究成果報告書, 176-180.
4. 松本健一 (2018) 地球システムモデル-社会経済モデル結合に向けた情報整理と環境整備. 海洋研究開発機構編. 統合的気候モデル高度化研究プログラム「炭素循環・気候感度・ティッピング・エレメント等の解明」平成29年度研究成果報告書, 142-145.
5. 松本健一 (2017) 経済モデルによる気候安定化目標に向けた社会経済シナリオの構築. 海洋研究開発機構編. 気候変動リスク情報創生プログラム「安定化目標値設定に資する気候変動予測及び気候変動研究の推進・連携体制の構築」平成28年度研究成果報告書, 110-115.
6. 松本健一 (2016) 経済モデルによる気候安定化目標に向けた社会経済シナリオの構築. 海洋研究開発機構編. 気候変動リスク情報創生プログラム「安定化目標値設定に資する気候変動予測及び気候変動研究の推進・連携体制の構築」平成27年度研究成果報告書, 95-100.
7. 松本健一 (2015) 経済モデルによる気候安定化目標に向けた社会経済シナリオの構築. 海洋研究開発機構編. 気候変動リスク情報創生プログラム「安定化目標値設定に資する気候変動予測及び気候変動研究の推進・連携体制の構築」平成26年度研究成果報告書, 84-88.
8. 松本健一 (2014) 経済モデルによる気候安定化目標に向けた社会経済シナリオの構築. 海洋研究開発機構編. 気候変動リスク情報創生プログラム「安定化目標値設定に資する気候変動予測及び気候変動研究の推進・連携体制の構築」平成25年度研究成果報告書, 52-56.
9. 滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科 (2014) 近江八幡市ヨシ群落保全創造業務委託報告書.
10. 松本健一 (2013) 経済モデルによる気候安定化目標に向けた社会経済シナリオの構築. 海洋研究開発機構編. 気候変動リスク情報創生プログラム「安定化目標値設定に資する気候変動予測及び気候変動研究の推進・連携体制の構築」平成24年度研究成果報告書, 47-50.
11. 滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科 (2012) 野洲市環境基本計画中間見直し業務報告書.
12. Warren, R., Arnell, N., Berry, P., Brown, S., Dicks, L., Gosling, S., Hankin, R., Hope, C., Lowe, J., Matsumoto, K., Masui, T., Nicholls, R. O'Hanley, J., Osborn, T., and Srieccru, S. (2010) The Economics and Climate Change Impacts of Various Greenhouse Gas Emission Pathways and a Comparison between Base Line and Policy Emissions Scenarios. AVOID Reports WS1D3R01.



## 新聞記事

1. 長崎新聞朝刊社会1面25ページ(2020年11月10日) 温暖化への姿勢 歓迎.
2. 朝日新聞(大阪)朝刊生活1面19ページ(2004年12月21日) 震災の教訓、世界に(忘れない 阪神大震災から10年) .
3. 神戸新聞朝刊10面(2004年12月26日) 大震災検証の報告書英訳.
4. 読売新聞(大阪)朝刊神戸31面(2007年11月14日) 日米加の学生、神大会館で環境討論 7人がパネリスト参加.

## 総説・解説

1. Matsumoto, K. (2018) Adopting Renewable Energy and Nuclear Power in Japan. Science Trends. <https://sciencetrends.com/adopting-renewable-energy-and-nuclear-power-in-japan/> (July 9, 2018).
2. 松本健一 (2015) 海外の研究者と共同研究することの意味. 滋賀県立大学環境科学部年報 19, 17-19 .
3. 松本健一 (2015) カナダ・ウィンザーで見たもの. 滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科コラム (2015年8月12日) .
4. Matsumoto, K. (2015) Energy toward 2030 in Japan. RCEM: Views on Energy News. <http://www.rcem.eu/posts/2015/may/21/energy-toward-2030-in-japan.aspx> (May 21, 2015).
5. Matsumoto, K. (2015) Climate Change Mitigation and Energy Security in East Asia. RCEM: Views on Energy News. <http://www.rcem.eu/posts/2015/february/23/climate-change-mitigation-and-energy-security-in-east-asia.aspx> (February 23, 2015).
6. Matsumoto, K. (2014) A Recent Issue on Feed-in Tariff by Kyushu Electric Power Company. RCEM: Views on Energy News. <http://www.rcem.eu/posts/2014/october/15/a-recent-issue-on-feed-in-tariff-by-kyushu-electric-power-company.aspx> (October 15, 2014).
7. 松本健一 (2014) 国際的な気候変動対策のゆくえ. 滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科コラム (2014年12月16日) .
8. 松本健一 (2013) 持続可能な発展に向けた環境科学部の国際的教育・研究. 滋賀県立大学環境科学部年報 17, 23-25.
9. 松本健一 (2012) 総合的な視点から環境学を考える. 滋賀県立大学環境科学部年報 16, 57-58.

## 記者発表

1. 家庭生活に伴って排出された CO<sub>2</sub> の都道府県別変動要因を特定 (2018年8月2日) <http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/about/info/science/science159.html>
2. 地球システムの応答にみられる不確実性は経済にどれほど影響するか(海洋研究開発機構より、2015年4月8日) [http://www.jamstec.go.jp/j/about/press\\_release/20150408/](http://www.jamstec.go.jp/j/about/press_release/20150408/).

## 学位論文

1. 博士論文: ポスト京都議定書に向けた国際的気候変動政策に関する研究—経済移行国・発展途上国の参加を考慮した帰属炭素税の導入効果の分析— (関西学院大学, 2007年3月) .
2. 修士論文: The Best Mix of Power Sources for the Minimum CO<sub>2</sub> in 2010 Japan, and the Electric Power Risk Management for the Mix (早稲田大学, 2004年3月) .